

みずほCustomer Desk Report 2023/09/15号(As of 2023/09/14)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.21
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.34	1.0734	158.15	1.2488	0.6421
SYD-NY High	147.57	1.0752	158.40	1.2505	0.6459
SYD-NY Low	147.02	1.0632	156.65	1.2398	0.6419
NY 5:00 PM	147.49	1.0643	156.93	1.2411	0.6441
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,907.11	331.58	日本2年債	0.0300%	0.0100%
NASDAQ	13,926.05	112.47	日本10年債	0.7100%	0.0000%
S&P	4,505.10	37.66	米国2年債	5.0125%	0.0422%
日経平均	33,168.10	461.58	米国5年債	4.4180%	0.0346%
TOPIX	2,405.57	26.93	米国10年債	4.2853%	0.0319%
シカゴ日経先物	33,230.00	545.00	独10年債	2.5935%	▲0.0580%
ロンドンFT	7,673.08	147.09	英10年債	4.2785%	▲0.0620%
DAX	15,805.29	151.26	豪10年債	4.0950%	▲0.0590%
ハンセン指数	18,047.92	38.70	USDJPY 1M Vol	9.00%	▲0.44%
上海総合	3,126.55	3.48	USDJPY 3M Vol	9.37%	▲0.02%
NY金	1,932.80	0.30	USDJPY 6M Vol	9.37%	▲0.09%
WTI	90.16	1.64	USDJPY 1M 25RR	▲1.03%	Yen Call Over
CRB指数	290.29	2.66	EURJPY 3M Vol	9.27%	▲0.12%
ドルインデックス	105.41	0.64	EURJPY 6M Vol	9.58%	▲0.11%

東京	東京時間のドル円は147.34レベルでオープン。前日に米金利が低下していたこともあってか、仲値にかけてドル売り優勢となり147.03まで下落。その後、再び147.02まで下押すも147円を前に底堅さが見られた。狭い値幅で一進一退が続き、結局147.13レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.13レベルでオープン。米金利の上昇を背景に147.39円まで上昇するも、午後に米指標を控え上値重い展開。結局、147.35レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0744レベルでオープン。午後にECB政策決定会合を控える中、一時1.0725まで下落するも、結局1.0730レベルでNYに渡った。欧州株は全面高で推移した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台半ばでスタート。東京時間では、仲値にかけて売りが先行し、147.03まで下落する。売り一巡後は低下していた米金利が上昇する動きに買戻しの展開となり、147.40付近まで戻し、その後147.35レベルでNYオープン。朝方は複数の米経済指標が発表され、米8月小売売上高(前月比)が予想を上回り、米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より良好な内容、米8月PPIが予想以上の伸びを見せた結果がドル買い基調を高め、147.57まで上昇する。しかし、その後米金利が低下する展開にドル円も伸び悩み、147.02まで反落。午後は米金利再び上昇を横目にじり高で推移し、147.48まで戻す。その後小動きとなり、147.49レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。注目の9月ECB理事会の結果発表を控え、1.0730付近での様子見姿勢が広がり、1.0730レベルでNYオープン。朝方に発表されたECB理事会では主要政策金利の25bp利上げを発表される。しかし、声明文では2025年までのユーロ圏成長予想が各年下方修正された内容や、25年のインフレ率が予想より鈍化する予測によるユーロ圏経済の減速が懸念され、売りが優勢となり、1.0655まで下落。続いて行われたECBラガルド総裁の記者会見でも特段サプライズ発言は見当たらず。その後も1.0645まで値を下げる。午後もユーロ安の流れが続き、終盤では1.0632まで下げ幅を拡大。その後小幅反発し、1.0643レベルでクロス。

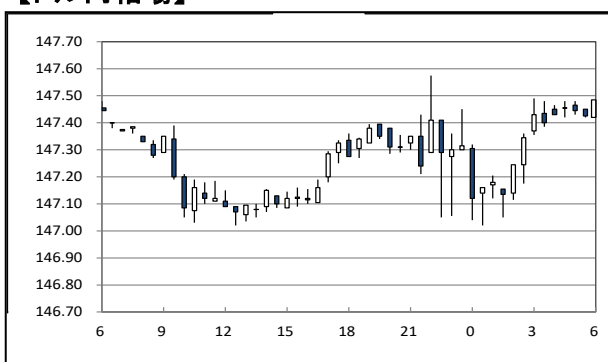
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月14日	10:30	豪雇用者数変化	8月 64.9k	25.0k
	10:30	豪失業率	8月 3.7%	3.7%
	13:30	日鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	7月 -1.8%/-2.3%	-
	21:15	欧ECB主要政策金利	14-Sep 4.50%	4.25%
	21:30	米小売売上高(前月比)	8月 0.6%	0.1%
	21:30	米新規失業保険申請件数	9-Sep 220k	225k
	21:30	米PPI(前月比/前年比)	8月 0.7%/1.6%	0.4%/1.3%
	21:45	欧ラガルドECB総裁 会見	「金利がピークに達したとは言えない」	

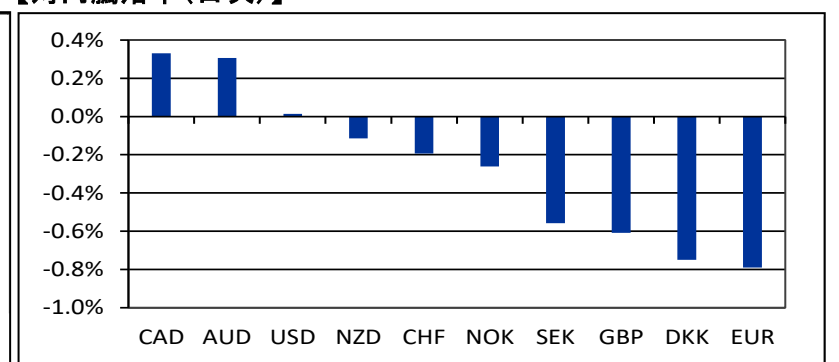
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月15日	11:00	中鉱工業生産(前年比)	8月 3.9%	3.7%
	11:00	中小売売上高(前年比)	8月 3.0%	2.5%
	15:45	仏CPI(前月比/前年比)・確報	8月 1.0%/4.8%	1.0%/4.8%
	21:30	米NY連銀製造業景気指数	9月 -10.0	-19.0
	22:15	米鉱工業生産(前月比)	8月 0.1%	1.0%
	23:00	米ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 69.0	69.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-148.00	1.0580-1.0700	156.00-157.90

【マーケットインプレッション】

昨日のECBでは0.25%の利上げを決定。しかし、欧州経済の先行き見通しが引き下げられ、利上げサイクルの終了が意識されたことでユーロは下落。クロス円の下落につられてドル円も一時147円付近まで下落したが、強い米経済指標を手掛かりに米金利も底堅く推移すると、結局ドル円は147円半ばまで上昇した。 本日のドル円は小確りとした推移を予想する。前日からの流れを引き継いだドル買いに加え、5・10日(ゴト一日)における実需の買いもドル円をサポート。またユーロやポンドが売られ、昨日は短期的な値動きの中でやや円買い優勢となったが、円を買い進める理由が乏しい状況下、一巡すれば消去法的にドルが選考され易い地合いと考える。一方で、来週にもFOMCを控え、また本邦は連休前ということもあり、直近のレジスタンスとなっている147.90付近では積極的な買いは手控えられるのではないかと。
--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・南野